

原水爆禁止2022年 世界大会が開催されます



8月4日～9日にかけて原水爆禁止2022年世界大会が行われます。今年には現地参加とオンライン参加の併用開催となります。また、時を同じくして8月1日～26日ニューヨークの国連本部において核不拡散条約（NPT）再検討会議が行われます。

「核兵器は人間が人間として死ぬことも許されない絶対悪の兵器」であり、核兵器禁止条約の批准国も増え、世界の流れは核廃絶へ歩みをすすめています。世界大会では日頃はあまり知ることもできない核廃絶への世界の歩みを知り、と学ぶことができる大事な機会となります。大阪きづがわ医療福祉生協は、ヒロシマデー（4日～6日）への職員の参加を目指します。職員・組合員のみなさまにはぜひ参加活動費などカンパをお願いします。

委員会通信 第6回 ボランティア委員会

大阪きづがわ医療福祉生協では、組合員のちょっとした困りごとと同じ組合員が援助する組合員相互の助け合いの取り組みを行っています。ボランティア委員会では2カ月に1回会議を開いてその活動の交流をしています。



介護保険の改善がつづき、ヘルパーさんでは対応できないちょっとした困りごとを解決するために組合員の力を発揮しています。委員会ではボランティアの支援者を増やすことや支援者になってもらった方にも色々なことを学んでもらうことも大事と学習も位置付けています。

困りごとの内容も様々ですが、「おたすけ」の支援から介護保険利用（事業所利用）につながることもありました。

この助け合いの取り組みは支援をする方にとってはやりがい（生きがい）となり、支援される方にはその人らしく生活する助けになり、お互いに喜びを感じあえる生協らしい活動だと感じています。

今後、介護保険制度の改善や充実を求めていくたたかい（運動）をすすめていくとともに組合員さんが住みなれた地域でその人らしく生活することを応援できるこの活動を発展させていければと思います。

西成エリアの「9の日」宣伝



きづがわ医療福祉生協西成エリアは、憲法9条を守ろうと、10団体で西成区民アクションを結成し、毎月9日夕方4時から天下茶屋駅前、憲法改悪に反対する宣伝と署名を行っています。コロナ禍で大きな声で訴えが出来なかつた時も録音した音声を通してスタンディングをしました。まん延防止措置がなくなつてからは、各団体によるリートークも行いました。また、

ウクライナ侵略反対も訴えて、反響がありました。これからも、「力には力」でなく、憲法9条を活かした外交で問題を解決しよう、訴えていきたいとおもいます。

（西成区民アクションは大阪きづがわ医療福祉生協はじめ、区内の市民団体・労働組合が参集したアクションです）また、7月19日（火）夕方4時から行います。皆さん是非ご参加ください。

大正エリアの「健康づくりウォーキング」



大正エリアでは、健康づくり委員会主催で毎月ウォーキングを企画し多くの方が参加して喜んで頂いています。

5月22日（日）、城北公園の菖蒲を目指して、メトロ大正をいざ出発、31人が青空の下を歩きました。菖蒲園は20日に開場したので未だ咲いている花の数は少なかつたですが、様々な種類の菖蒲が色とりどりに咲いていました。



東海道は江戸から京まで、京から大坂までは京街道、ここを歩き、天然記念物の大楠、朝日地蔵（お顔が有りません、昔水路を行き交う船の船頭さんが竿を当てていました）千林商店街、七曲がり（太閤さんが敵の侵入を困難にさせる為に曲げたといわれています）、関目の地名由来などを巡りながら健康増進と健康チャレンジ期間中でしたので、記録達成に少しはお手伝いしたかなと思います。

世界平和を願い都島区常宣寺の観音様前で皆さんとシャッターを切りました。戦争で命を奪われた人々のご冥福をお祈りしました。

7・8月は熱中症予防で企画はしておりません。



「家で過ごしたい」 夫の最期の願いに寄り添って

岡島正(仮名)さんは今年の四月、家族に見守られながらその生涯を終えられました。地域では町会長を10年以上続けられ周囲からの信頼も厚く、また家の中では愛妻家な一面を持っていた岡島さん。病院が嫌で、何とか家に帰りたいと強く望んでおられました。「本当に病院が嫌だったんでしょね、入院中は病院で出されるご飯が嫌で毎日私が持って行っていました」と語るのは奥さんの恵美子(仮名)さんです。恵美子さんも何とか夫を家に帰してあげたいと考えていましたが、重い病状の夫を家で自分一人で看病ができるのかと不安で、なかなか決心がつかなかったそうです。

● たくさんの人に支えてもらった在宅生活

一時的に退院することが決まり、自宅での病状ケアのためみなと生協診療

れたそうです。

● 家で看取ることを決意した 恵美子さん

自宅での生活は看護師さんやお医者さん、また家族や地域の人たちの手助けもあり穏やかに過ごすことが出来たそうです。そんな日々を過ごす中で恵美子さんも当初は「最後は病院で」と考えていましたが、次第に自宅で最期までお父さんと一緒に過ごす決意が出来たとおっしゃっていました。「みんなに支えてもらった。一人では頑張れへんかったと思う、たぶん頭おかしくなっていたやろな。看護師さんとか家族



思い出話が尽きません

所と訪問看護ステーションさくら通りの訪問診療と訪問看護が始まりました。奥さんは当初は延命治療等は望まないが、「自宅で看取ることは難しい(私が耐えられない)、最終的には病院で」と考えていました。

訪問看護はほぼ毎日岡島さんのお宅を訪れ、体調の確認や排便が上手くいかない時のケアを行っていました。困ったときに駆けつけてくれる看護師さん。正さんはいつも看護師さんが帰った後に手を合わせて「ありがとう」とおっしゃっていたそうです。奥さんも「排便のこととか、本当にいつも嫌な顔せずやってってくれてとても助かった」と言われていました。またある日には看護師さんが訪問中にお二人が夫婦喧嘩を始めたことも。その時のことを聞くと「やっぱり(病気のこともあって)いらいらしてたのかな。でも看護師さんに気を許してたのもあると思う、エエかつこせんでもいい、身内み



岡島さん

がおったから家で看取りをするって決心がついたんやと思う。ありがとうね」

● お看取りを終えて 看護師の訪問

六月に岡島さんのご自宅へ訪問看護の職員が訪れました。久しぶりにお会いする奥さんもお元気そうなお様子で、部屋の中へ案内してくれました。話題は自然と正さんの思い出話へ。「お造りが好きやったんよ、カツオのたたきが特に好きやったわ」「細かいこだわりがありましたね、ベッドの角度とかもすごい気にしてたし」「いつも感謝」を大事にした、信心深い人「やったわ」「息子さんのことを本当に自慢にしてはりましたね」たくさん思い出がよみがえってきます。最後の



みんなで写真を撮りました

たいな感じ。でも看護師さんが帰った後にお父さん『嫌われたかな』って気にしてたよ(笑)在宅での大変な部分を看護師さんや家族の助けも借りて一緒に乗り越えていきました。そして奥さんの気持ちにも徐々に変化が現

日には息子さんと二人で夫を見送った恵美子さん。正さんから「あんたと結婚してよかった、いっしょにご飯食べれてよかった」と言ってもらえた、感謝しながらすーと楽に逝けたと思うとおっしゃっていました。家をあとにする直前、奥さんから「あなた達のこと、お友達とかにも案内しとくからね」と言っていたことが、訪問した職員にはとても心に残ったそうです。

大阪きづがわ医療福祉生協は、患者さんとその家族に寄り添いながらケアに努めています。在宅での不安を少しでも和らげられるように、そして患者さんと家族さんの願いに寄り添えるような医療と介護の実践を行っています。

記事を読まれた皆様、ご感想をお寄せください。



お父さんが誉めてくれた奥さんの手芸

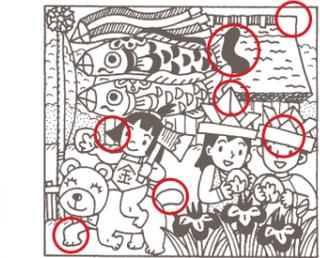


		1		4		9
9	2		8			
	3		5	1		
4	2	5				7
			6		2	
	□	1		7	6	
		6	4			8
	4	3			□	
7			9		1	

あたまたの体操
ナンバープレース
 タテ・ヨコの同列内、太枠のブロック内に同じ数字が重ならないよう、1~9の数字をつまみましよう。二重枠の数字の合計を答えてください。

●2022年5月号のナンバープレースの答えは【8+3=11】でした

どこ？どこ まちがいは7
 左の絵は右と7ヶ所のまちがいがああります。



5月号の応募総数94名で正解者90名でした。

5月号の当選者 20名
 図書カード当選者は発送をもって発表に替えさせていただきます。抽選は毎月第一月曜日に行っています。見学されたい方は、ご一報の上、お越しください。

【ハガキ 応募方法】
 解答イラストを切り取り、ハガキに貼って下記住所までお送りください。
 ＊ハガキ・メールとも氏名、住所、連絡先、今号の記事への感想やご意見、近況などをお書き添えください。また、ナンバープレース・まちがいがしのどちらを解答していただいても構いません。

【メール 応募方法】
 解答画像を添付の上、下記アドレスまでメールをお送りください。

正解者の中から抽選で20名の方に図書カード(500円)を進呈!

郵便番号は正確に 〒556-0024 塩草2-2-31
 大阪きづがわ生協「みらい」係 mirai1@osaka-kizugawa.coop

どしどし応募お待ちしています/ 7月末日 必着

職員募集

●求人詳細は当生協ホームページにて <http://www.osaka-kizugawa.coop>
 ●各事業所又は本部(06-4394-8500)まで

- 看護師
- ケアマネジャー
- 介護スタッフ
- 理学療法士
- 介護福祉士
- 送迎スタッフ
- 作業療法士
- 訪問介護員(ヘルパー)
- 運動トレーナー
- 歯科衛生士
- 事務員
- リハビリ助手

もっとひろがる!つながる!
おたより
コーナー
 拡大版

今月の募集テーマは ※9月号掲載予定
【あなたの好きな、または思い出の、秋の味覚】
 写真も投稿してください! (理由も教えてください)

●風薫る素敵な季節ですが、今年は気持ちごとくも盛り上がりません。ロシアのウクライナ侵攻、これに乗じた憲法9条の改憲。平和をまもる事は命をまもる事です。

●昨年、娘の結婚式に留袖を着るため髪を伸ばした。年齢を増すとまとまりにくくなる髪もパレットで留めれば楽々気づきました。そのまま伸ばしつけ、寄付しようと考えてます。

●5月2日(八十八夜)誕生日でした。きづがわ生協より、誕生日カードとプレゼント(歯ブラシ)をいただき、81歳の誕生日、うれしい月となりました。しっかりと歯をみがき、食べ物をおいしくいただき、また1年元気で暮らせるようがんばります。ありがとうございます。

●淡路島の海、浅瀬で子ども達と遊ぶのに適してました。コロナも少し落ち着いたら、久しぶりに行きたいです。

●オスメの海水浴場は沖繩の瀬底ビーチです。水も砂もきれいで感動しました。

●海水浴ではありませんが、子どもたちが小さ

●ブランドゴルフ始めました。数えるほどしか行っていないのに体が痛くて続けられそうにありません。65歳ですが、一番若いと言われました。体力的には、番の年上ですが、20年続ける事を目的としています(笑)。

●春の健康チャレンジのウォーキングをしていますが、気温の変化が激しくて年寄りにはなかなか行けず、出雲岬まで到達出来るのか不安です(米寿を迎えました)。

●日照時間長く暑からず、寒からずのよい季節。希望にもって起きるのですが、やりたい事の半分も出来ないまま1日が過ぎてしまいます。トシ取ってあわれやな。

●最近、理科の自主学習をするのが好きです。学習ポイントがたまると、きれいな石をもらえらるからです。なので、土日は花、虫の自然かんさつをして、ノートに書きたいです。これからがんばっていききたいと思います。

●このトシ(87)になると、やはり歩くのが困難。毎週土・日はナンバまで自転車、歩き、バス、歩きと運動を兼ねてウインズまで馬券を買って行っていますが、ほとんどがハズレ。ムダ金を使

い時、よく琵琶湖に行っていました。近江八幡休暇村の前の砂浜は遠浅で美しく、いつまでも遊んでいられた。波もなく、クラゲがないのがよかったです!

●毎年、白良浜に行きます。透き通っていてとてもキレイです!人が増えてきたら濁って行くので、朝イチがオススメ。

●もう四十五年も前、勤務した病院には福利厚生として白浜に保養所があった。頑張って仕事をし、毎年夏が来るのを待ちかねた。泳ぐのにあき

おたよりへの感想・お返事など、交流の場としてご利用ください

うなと家族から叱責されています。

●初めて投稿します。みらい6月号の「お便り欄」に嬉しい記事がありました。大正区の満崎さんが「人生最高の御花見」をされた奈良県吉野郡下北山村は私の生まれ故郷であり、今年同じ景色を見ていたからです。なにか自分がかほめられたような感覚で「ありがとうございます」と思ってしまった。

●今日はとても良いお天気です。朝の目ざめも最高です。久しぶりにミシンを出して、小さくなったブラウスをリメイクしました。ダーツをほどぎ脇を袖下に配色のいい布でマチを入れて出来上がり(縫代にはロックスミン)。またしばらくは着られそうです。新しく買うのは簡単ですが、勿体ない!は昭和生まれの精神です。



イラストの投書がありました。
 「雨のち雲のち晴れ」西成区 田辺照子さん

れば、浅瀬で鬼ごっこをして遊び、帰りは手を繋ぎ歌いながら帰った。楽しいなつかしい思い出。昨年長女が孫四人を連れて白浜に行き、浅瀬で水遊びをして楽しかったよと言ってくれた。幼なじこの楽しかった記憶を、孫に繋いでいるのだと嬉しく感じた。

●東の湘南、西の須磨として名高い神戸の須磨海岸がおすすめです。海水浴場の裏には水族館もあり、最寄駅から徒歩10分の立地、パークビューや潮干狩も楽しめる人気スポットです。

●少い遠いですが、加太海水浴場は波で遊ぶ事が出来て、うきぶくろやボディボードも貸し出ししていて、泳げなくてもとっても楽しいです。一度行ったらやみつきになりますよ!

●コロナの規制が大幅に見直されたようで気が大へん楽になりました。でもマスクはまだまだはずせないようです。はずすとなれば何だか淋しいかも?

●年を重ねて病気が増えつつあります。先日「俳優アランドロンに似たアレシドロンを飲んでみる」と得意げに言って子供に苦笑されました。

●汗ばむ季節になってきましたね。もうすぐ出産を迎えます。1人目の時より何だか緊張しています。今年は、コロナにふりまわされず自由のびのび過ごせるといいなあ。

●長く続く「コロナ禍も少しおちついた所で久しぶりに旅行へ出かけました。仙台から桜を追って500キロ。宮城・秋田・岩手・青森まで念願の桜を満喫して来ました。平和のありがたさが身にしみました。

●鳥取の東浜海岸に行った記憶が印象に残っています。人も少なく駐車場からすぐ海岸に

5月号で募集したテーマ
海水浴にしよう!
オスメの海水浴場

※メールでおたよりを送っていただく場合住所、氏名を入力してください。
 ※おたより掲載は図書カード当選と関係ありません。(編集部で選んでいます)